



ゼロカーボンで環境を守る旅へ出発!



大人も子どもも デジタルジャーニー!



～ゼロカーボンスタンプラリーたかまつ～

IruCaチャージ券が当たる

スタンプラリー実施期間

1.15 - 2.15

スタンプラリーコース

- 1 高松駅周辺コース
ヨンデンプラザ等
- 2 八栗駅周辺コース
百十四銀行八栗支店、コープ牟礼店等
- 3 瓦町駅周辺コース
まちマルシェ・きむら、マルナカ田町店等



抽選の特典

抽選で100名様に

IruCa 500円分
プレゼント!



*詳しくは「マイデジ」で検索してください。

参加方法

Step.1



「マイデジ」アプリを
ダウンロード

Step.2



スタンプラリーに参加して
スタンプを集める

Step.3



各コースの全スタンプを
集めてアンケートに回答

抽選



抽選で
IruCaチャージ券が当たる



主催：高松市（委託事業者）サイテックアイ株式会社
お問い合わせ：<https://psytec-ai.com/contact/>



デジタルを活用した脱炭素社会実現への後押し

～ゼロカーボンスタンプラリーたかまつ～

サイテックアイ株式会社
営業課 成瀬

TEL.087-899-6512

ゼロカーボンシティ実現に向けての現状と課題

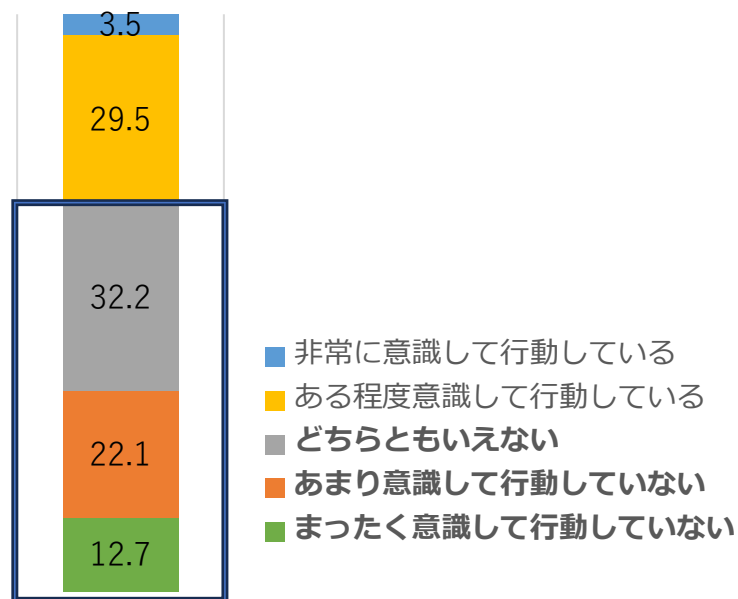
○現状

2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、新しい国民運動「**デコ活**」を展開中。

脱炭素社会の実現に向けて取り組むことについて正直
どのように思うか（10-20代の回答）

	(%)
正直、よく分からないのでやるべきことを決めてくれたら従う	59.4
正直、意識・貢献できる具体的な瞬間がない	58.5
正直、自分一人でやっても変わらない	56.9
正直、取り組むモチベーションが続かない	50.2

どの程度脱炭素社会に向けた行動をしているか (%)



脱炭素に対する意識がない、良く分からない、と答えた方が6割近く。

行動に移せていない、意識できていない人の割合は67%程。

○課題

脱炭素に対して普段ほとんど意識していないという人が多数

企画概要

項目	内容
企画名	大人もこどももデジタルジャーニー ～ゼロカーボンプラリーたかまつ～
目的	デジタルツール（マイデジ）を活用して、楽しみながら脱炭素に対する意識の向上を目的とする。
参加者	アプリユーザー（登録者4万人）
実施期間	2024年1月15日（月）～2月15日（木）
場所	スタンプラリーの拠点15ヶ所（1コース5ヶ所で3コース設置） ①高松駅周辺コース コトデン築港駅/ヨンデンプラザ・サンポート/フットバス高松駅 サンポート高松駅前キャノピー/レンタサイクル（高松駅） ②八栗駅周辺コース コトデン八栗駅/コープ牟礼店/百十四銀行八栗支店/山田家物流 道の駅源平の里むれ（EVスタンド） ③瓦町駅周辺コース コトデン瓦町駅/まちマルシェきむら/マルナカ田町店/高松中央公園 高松市役所（給水スポット）

スタンプラリー内容

いずれか1コース以上制覇し、アンケートに回答した方の中から抽選で100名様にIruCa500円分をプレゼント



アプリ内のスタンプラリーを起動。



コースの一覧が表示。



スタンプがもらえる拠点の確認。



拠点を訪問し脱炭素に関するクイズに答え、スタンプを取得。



コースの拠点の全てのスタンプを集め、アンケートを回答で抽選権を獲得。

スタンプラリー形式にすることで楽しみながらクイズに答えて環境問題について学ぶ事が可能。

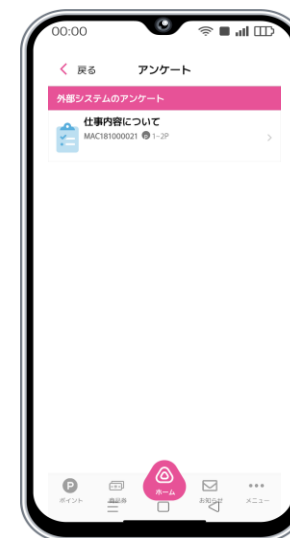
アンケート実施方法



「もっと見る」
を押す。



「アンケート」
を押す。



実施中のアン
ケートが表示
される。

アンケートの実施を従来の紙で実施しようとするれば紙を印刷して、参加者に配り回収し、さらに各質問に対しての回答を手動で集計する手間が必要。

デジタルにすることにより、それらの手間と紙などの資源も節約できる。
さらに集計もチャットGPTの活用により簡単に集計することが可能。



テスト用 アンケート結果.csv
スプレッドシート

アンケート結果を集計して、各質問の数と割合を出してください。
日本語をお願いします。



ChatGPT

アンケート結果の集計を行います。各質問について、回答の数と割合を計算します。具体的には以下の質問について集計します：

集計を開始します。[-]

アンケート結果の「年代」に関する集計は以下の通りです。

- 50～60代: 36回答 (割合: 40.45%)
- 30～40代: 33回答 (割合: 37.08%)
- 60歳以上: 14回答 (割合: 15.73%)
- 20代: 4回答 (割合: 4.49%)
- 10歳以下: 1回答 (割合: 1.12%)
- 10代: 1回答 (割合: 1.12%)

他の質問についても同様に集計結果を出力します。[-]

アンケート結果の集計は以下の通りです。

年代の集計結果

- 50～60代: 36回答 (割合: 40.45%)
- 30～40代: 33回答 (割合: 37.08%)
- 60歳以上: 14回答 (割合: 15.73%)
- 20代: 4回答 (割合: 4.49%)
- 10歳以下: 1回答 (割合: 1.12%)
- 10代: 1回答 (割合: 1.12%)



性別の集計結果

- 女性: 43回答 (割合: 48.31%)
- 男性: 39回答 (割合: 43.82%)
- 回答しない: 7回答 (割合: 7.87%)

居住地の集計結果

- 高松市内: 84回答 (割合: 94.38%)
- 香川県の高松市以外の地域: 3回答 (割合: 3.37%)
- それ以外: 2回答 (割合: 2.25%)

満足度の集計結果

- 満足: 36回答 (割合: 40.45%)
- 大変満足: 28回答 (割合: 31.46%)
- 普通: 22回答 (割合: 24.72%)
- 不満: 3回答 (割合: 3.37%)

「デコ活」という言葉を聞いたことがあるかの集計結果

- ない: 67回答 (割合: 75.28%)
- ある: 22回答 (割合: 24.72%)



参加方法の集計結果

- 徒歩: 37回答 (割合: 41.57%)
- 自転車: 20回答 (割合: 22.47%)
- 公共交通機関 (電車やバス等): 18回答 (割合: 20.22%)
- 自家用車: 12回答 (割合: 13.48%)
- その他: 2回答 (割合: 2.25%)

実施結果

○スタンプラリー参加者数は1カ月間の開催で108人となった。
100人以上の人が自主的に行動し、脱炭素の取り組みについて学んでもらえた事は一定の成果があったのではないかと考える。

○クイズの回答結果について。
正解573問 不正解81問 正解率87.62% となった。

〈不正解が多かった問題〉

- ・百十四銀行木太支店（高松東営業部）が受けたZEB認定とはなにか？
- ・地産地消することで得られる脱炭素の効果とは？
- ・電車のどんな特性が交通渋滞の緩和に役立ちますか？

○脱炭素型ライフスタイル推進リーダーとしての今後の取り組み
今回の事業で参加者の7割以上の方に「満足した」との回答を得られた。
楽しみながら脱炭素の取り組みについて学んでもらうという目標についてはある程度達成できたものと考えます。
今後もゼロカーボンシティの実現に向けて、デジタルを活用した脱炭素の取り組みを推進して参ります。